

会議名	清水町都市計画マスタープラン策定委員会(令和5年度第3回)		
日時	令和6(2024)/3/18(月) 19:00~21:00	会場	清水町役場 庁議室
出席者	委員長) 建設業協会 協会員 紺野宏 副委員長) 商工会事務局 事務局長 岡本進 委員) 社会福祉協議会 社会福祉協議会事務局 脇原康誠、PTA連合会 副会長 金田京美、 子ども・子育て支援会議委員 委員 堀敦子、シルバー人材センター 理事長 太田昭夫 事務局(建設課) 課長 山田寿彦、課長補佐 小笠原国雄、住宅都市係 係長 世良田航 コンサル 清水克範、黒澤紀子 欠席者 商工会青年部 副部長 有澤輝彰		
発言者	発言要旨		
	1.開会 (建設課 山田寿彦) 2.委員長あいさつ (委員長 紺野宏) 3.議案 (1) 第5章「分野別構想」について (建設課 小笠原より説明) 4.その他 今後のスケジュールについて (建設課 小笠原より説明)		
	(以下、意見または質疑応答)		
岡本委員	3.議案 (1) 第5章「分野別構想」について 5-1 土地利用の方針 ・商業地の店舗跡への住宅建設について商工会で議論したことはないが、個人的には商業の土地としている以上、商業地であってほしい。		
金田委員	・商業地域だから住宅が建っているのを見ると寂しい気持ちがあるが、空き地になるよりは良い。ただ、本通線は景観を整えているのに意味がなくなってしまう懸念がある。		
太田委員	・人口減少に伴ってコンパクト化した方が良いと思う。工業施設は工業地帯で一箇所にまとめるなどの方が良いのではないか。運動場やプール施設等も一箇所にまとめた方が住みやすい。		
脇原委員	・商業地域を狭めて商業用に特化した地区を作るのも良いのではないか。		
堀委員	・空き店舗や空き地が目立つのが現状。子供の居場所を作って今の子供たちが大人になった時に思い出せるような空き地・空き家の活用が必要だと思う。		
岡本委員	5-2 交通体系の方針 ・将来的に幅を広くする想定で銀座通りを都市計画道路に代替えするとなれば、今後通り沿いに新たな店舗や住宅が建つ際に今とは別の制限がかかる可能性もある。それが良いのかどうかは現時点ではわからない。		
小笠原	・今回の計画はあくまでも機能面を考えた場合の話であり、実際の検討についてはまた別の計画で決め		

<p>脇原委員 金田委員 堀委員 太田委員</p>	<p>ていくことになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役場や赤十字病院、商店街に面する道路だから都市計画道路にして整備されていくと良い。</li> <li>・もともと銀座通りがメインの通りだと思っていたので、今回替える方向で良い。</li> <li>・人通りも多い道路なので、都市計画道路への代替えに賛成。</li> <li>・全面的に賛成。</li> </ul>
<p>小笠原  太田委員 小笠原</p>	<p>5-3 公園・自然環境の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民アンケートでは特に身近な公園の老朽化を修繕してほしいという意見が多い。また、第二保育所跡地については公園として都市計画決定されており、新たな公園として整備する余裕は町にないだろうという意見が出ているため、今後の方針を検討したうえで北海道と協議する。</li> <li>・木が生い茂った状態の公園らしくない公園も多い。</li> <li>・そのような意見が多いのは把握しているので、町としては今ある公園の維持管理に力を入れたい。</li> </ul>
<p>紺野委員 小笠原  岡本委員  小笠原</p>	<p>5-4 公共施設の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内にある大規模な空き店舗を町で活用することはできないのか。北見市に似たような事例がある。</li> <li>・建物は別事業者が所有しており、町から交渉は何度かしているが、実現には至っていない。町の入り口にあたる場所なので議会からも意見が出ている。今後も協議をしていく考え。</li> <li>・都市防災の方針で「緩やかな居住の誘導」とあるが、郊外にある公共施設は段階的に減らしていかないとそこに今住んでいる人は中心部に移動しようと思わないのではないか。</li> <li>・現段階ではその方針を立てることも難しいため、郊外に関してはそのまま維持していく。まちなかは中心部に集約していく方向性。体育館は中心部からやや外れるが、浸水想定区域外になることを重視した場所になった。</li> </ul>
<p>堀委員  紺野 小笠原  堀委員 小笠原</p>	<p>5-5 都市防災の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年の水害を経験しているので川沿いより中心部に移住し、開発等進めてもらった方が安心して暮らせると思う。</li> <li>・空き地の活用として応急仮設住宅建設予定地の位置づけをしてはどうか。</li> <li>・現在は公園を予定地としている。まちなかの公共用地は少なく場所も限られる。今後適切な土地があれば予定地を移すことも検討する。</li> <li>・教員住宅や閉園した保育所など古くなった建物を壊して土地にするのはどうか。</li> <li>・建物の利活用がないのであれば壊して土地としての利活用を考えるのは良いと思うが、解体費が高額な上、上水道の整備も必要なので今後庁内で検討を進める。</li> </ul>
<p>紺野委員  小笠原 紺野委員 小笠原</p>	<p>5-6 地域活性化の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいた人が亡くなり空き家になったがその人の子供は遠方にいたり、連絡がつかなかったりといったことは町で把握しているのか。</li> <li>・把握はしていないが、結構あるだろうといった印象。</li> <li>・空き家の所有者に解体を促すなど積極的に動いたりしてほしいのか。</li> <li>・個人の資産になるためそういったことは難しいが、固定資産税の通知に空き家バンク等の情報を同封している。その情報を見て連絡くれた人が最終的に解体に至ったという実績もある。町が持っている</li> </ul>

	<p>情報を使い、情報提供や連絡があれば照会するなど地道に取り組んでいる。</p>
	<p>全体を通して</p>
堀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの買物は車で行く人がほとんどだと思うが、個人商店の前に車を置いていく人もいる。町の空いている土地を公営駐車場にできないか。</li> </ul>
小笠原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用の基本方針図に「空き地の駐車場利用などを促進」という一文がある。すぐにという訳ではないが、いずれまちなかに空き地が増えてきたときに利活用の方針として進める。</li> </ul>
脇原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯用の公営住宅にもう少し広いものがあったら良いと思う。そのほか、独居老人も増えている現状を踏まえ、高齢者支援として、空き家を活用した自立した高齢者向けの住宅のようなものがあれば良い。</li> </ul>
岡本委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途地域を直しするにあたって、公聴会は行わないのか。</li> </ul>
清水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公聴会とまではいかないが、住民説明会と2週間の意見を提出できる機会がある。</li> </ul>
	<p>4.その他</p>
	<p>今後のスケジュールについて</p>
小笠原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は最終章となる第6章についての会議になる。今回第5章「分野別構想」で設定した方針を実現していくための各方針について実施時期など検討を行い、都市計画マスタープラン素案の完成となる。素案が完成次第、北海道との協議を経て、パブリックコメントを実施し計画が完成となり、議会に報告といった流れになる。策定委員会は、来年度に2回予定している。</li> </ul>
	<p>以上</p>